

# 自立・自走する地域づくりを考える ～地域と都心部を繋ぐ「地産都消」の新たな潮流から～

主催：(株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター  
<http://jrc.jalan.net/>

(株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター(JRC)では2005年8月の開設以降、観光に関する調査・研究・実証事業に取り組んでまいりました。昨今、地域の観光資源を活かし地域の魅力を創出していくために、自立し自走できる地域づくりが求められています。地域と都心部を繋ぐ「地産都消」の新たな潮流から、解決策を探ってみたいと考えております。当日は鈴木正晴様を迎えて作り手と使い手を繋げるプロフェッショナルの観点から、日本のモノづくりの魅力、その伝え方についてもお話しいただきます。食をテーマとした地域活性にご興味のある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

2013年3月26日(火) 14:00～16:20 (開場 13:30)

場所

(株)リクルートライフスタイル本社 41階アカデミーホール  
東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー41階

参加要件

参加費無料／定員200名／自治体・商工会・観光協会の皆様対象

## プログラム内容

■ 14:00～14:10 ■ 開催のご挨拶

■ 14:10～15:00 ■ 地域の「価値」を高め、需要を創造する「地産都消」型事業の可能性  
ホットペッパーグルメリサーチセンター センター長 竹田 邦弘

「食」を軸にした戦略的連携により、地域の「価値」を高め、生産、商業、観光が連鎖的に活性化する事業モデルと実践事例についてご紹介します。

■ 15:00～15:50 ■ 【基調講演】「日本の良いモノ～作り手と使い手をつなげる出会いの創出」  
株式会社コンタン 代表取締役社長 鈴木 正晴様

日本の良いモノを発掘し、全国の都心部で展開する「日本百貨店」を経営する鈴木社長。日本のモノづくりの魅力とは？そして、商品にまつわるストーリーをいかにして伝えていくか？作り手と使い手を繋げるプロフェッショナルの観点から、そのためのヒントをお話しいただきます。

■ 15:50～16:20 ■ 地産都消を応援する秋葉原高架下プロジェクト「食ラボ(仮称)」について  
じゃらんリサーチセンター エリアプロデューサー 渡邊 知

リクルートライフスタイルが日本百貨店しょくひんかんで展開する新しいサービス、「旅する食のラボラトリー(食ラボ)」(仮称)のご紹介をさせていただきます。食のブランドの磨き上げ、販路(実店舗・Web双方)拡大、それらに伴う消費拡大支援サービスについてご説明いたします。

## 基調講演 話者プロフィール

鈴木 正晴 様  
(すずき まさはる)

株式会社コンタン 代表取締役社長。日本百貨店 ディレクター 兼 バイヤー。  
群馬県 桐生市 PR大使。全国商工会連合会 専門家。

1975年神奈川県生まれ。1997年東京大学教育学部卒業後、伊藤忠商事(株)に入社。アパレル関連の部門で、素材、生産から小売部門まで幅広く担当。2006年4月に株式会社コンタンを立ち上げ、国内外のブランドのブランディング業務を行う。コンセプトは「日本ブランドの海外進出」。立ち上げから常に一貫してMADE IN JAPANの海外進出に関わる業務を行う。2010年12月には東京・御徒町に、日本の優れものを集める小売店「日本百貨店」をオープン。食・雑貨・衣料雑貨など、全国から様々なこだわりの商材を集め、作り手と使い手の出会いの場を提供している。今年6月には秋葉原に大型の「食のテーマパーク」日本百貨店・食品館をオープンする予定。海外への出店を見据えての事業拡大を続ける。



しょくひんかん

日本百貨店

